

県政150周年記念 人情喜劇 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」



人情喜劇 銀の馬車道劇団

銀の馬車道劇団は、地域の歴史文化とその魅力を地域住民たちから発信しようと平成19年に結成されました。それ以来、生野から姫路までの銀の馬車道沿線の市町で毎年上演し、7500名を超える多くの方々にご覧いただいています。昨年日本遺産に認定された「銀の馬車道・鉱石の道」を題材に、今年新たに制作した台本での上演となります。

団員はこの上演のためだけに集まる地域住民です。劇団結成のときには小学生だった子どもが大学生となり子どもたちを指導する立場になるなど、青少年の育成にも大きな役割をはたしてきました。役者だけではなく大道具から小道具、衣裳にいたるまですべて手作りの劇団は、観客のみなさまに涙と笑いをお届けする素晴らしい舞台を創り出しています。

銀の馬車道・鉱石の道 あらすじ

ときは明治時代のはじめ。生野を中心にかつては銅を産出していた明延、自然金の中瀬と鉱石で賑わう沿線の村々は、銀の馬車道が開通してからというものの活気にあふれています。今日は年に一度の夏祭り。跡取り息子の壱太郎が鉱山の勉強と称して家を飛び出してしまった郷宿市川家に盗人佐平が現れます。さてどんな騒動が起こるのでしょうか。「銀の馬車道・鉱石の道」は、世界と肩を並べようと著しく発展していく日本の殖産興業の礎となりました。この新たな時代に、沿線の町に暮らした人たちのお話です。歌にダンスに情愛溢れる人情喜劇を存分にお楽しみ下さい。

銀の馬車道は明治時代の初期に生野銀山と飾磨津（現在の姫路港）を結ぶ最新の舗装技術を用いた日本初の高速度産業道路とされています。当時は生野銀山の採掘や精錬に必要な物資の運搬ほか、日用品などを運ぶ輸送ルートとして、明治9年（1876）に完成しました。さらに生野銀山から明延鉱山、中瀬鉱山へと続く道を鉱石の道と言い、銀の馬車道とともに日本の近代化を牽引しました。



お問合せ

特定非営利活動法人 姫路コンベンションサポート

TEL.079-286-8988 FAX.079-286-9009

〒670-0912 姫路市南町 76 番地 城陽ビル 2 階

✉ Mail:info@denpakudo.jp